

## 地域ケア会議等からの地域課題抽出について

地域ケア会議は、地域における包括的・継続的ケアマネジメント支援業務を効果的に実施するために、介護保険法第115条の48第1項の規定に基づき設置される会議です。

町田市では、この地域ケア会議において、医療・介護をはじめとした専門職の他、福祉関係者、地域関係者、警察・消防関係者等様々な関係者が集まり、各関係者の知見を活かすとともに、各関係者の取組を進めることにより、地域ケアに関わる様々な課題の解決を図っております。

「(仮称)町田市いきいき長寿プラン21-23」の策定に向け、地域ケア会議等から抽出した地域課題について、以下のとおり報告いたします。

## 1 現状

- ・町田市のひとり暮らし高齢者・高齢者夫婦のみの世帯は、2015年時点で約43,900世帯となり、2000年と比べ2倍以上増加しています。
- ・町田市では、約11万人の高齢者が生活していますが、約8割以上の高齢者は、要支援・要介護の認定を受けずに生活を送っています。
- ・要介護度別の認定者数は、要支援～要介護1までの軽度者の増加が目立ちます。

## 2 課題

- ・以上の現状から、軽度の支援を必要とする高齢者の増加が見込まれ、多様な生活支援を提供できる体制づくりが必要となります。また、お元気な高齢者が心身の状況を維持・改善できるような環境づくりの推進が求められています。

## 3 生活支援コーディネーターにより把握された具体的地域課題

### (1) 生活支援

#### ①見守り

- ・地域で見守りや助け合いを行うため、「見守りネットワーク」の構築が必要である。
- ・特殊詐欺を減らすための取組が必要である。
- ・見守りの担い手が高齢者に偏っており、幅広い担い手が必要である。
- ・支援を必要とした時の相談先の周知が必要である。

#### ②買い物支援

- ・買い物の荷物が重くて、持ち運びができない。
- ・(宅配ではなく)自分の目で見て買い物をしたい。
- ・お店があっても坂が多く、買い物に行けない。

#### ③家事支援

- ・無償、もしくは低額で生活支援をしてほしい。

#### ④外出支援

- ・身体機能が低下した高齢者の外出が困難である。
- ・バスルートがない、不便、バス停が遠い、バス便が少ない等の理由により外出が困難である。
- ・団地の中層階以上では身体機能の低下により階段の昇降が困難である。
- ・道の途中やバス停に休めるベンチがほしい。

### (2) 介護予防

#### ①介護予防の場づくり

- ・通える範囲で身体を動かしたり趣味を楽しめる場が必要である。
- ・男性が参加・活動しやすい場が少ない。
- ・地域住民が多世代で交流できる場がほしい。
- ・グループ活動や交流をするための場所（施設）が足りない。

#### ②地域活動の担い手育成とマッチング

- ・介護予防や見守り、生活支援のボランティア育成が必要である。
- ・地域貢献の場を求めている事業者や高齢者と地域のニーズのマッチングが重要となる。